

★今週の聖句

あなたがたに新しい掟を与える。互いに愛し合いなさい。

ヨハネによる福音書13:34

★ ねらい

イエスが弟子たちの足を洗い、その愛を実践されたように、わたしたちも互いに愛し合う（大切に  
し合う）ことを実践し、そのイエスによって示された愛を伝えていく。

★ 説教作成のヒント

- ・ イエスが弟子たちの足を洗ったあとに命じたことであるがゆえに、互いに足を洗い合うこととは、互いに愛し合うことにほかならない。
- ・ 愛というものは意味が漠然としているので、互いに愛し合うこと＝相手のことを大切にすること、これを理解させる。

★ 豆知識

- ・ 当時、イエスを主と告白する者たちはユダヤ教から迫害され、そのことによってユダヤ教に逆戻りする人々が多くいた。一方、迫害されてでも、その信仰を貫いて生きたキリスト者たちがいた。彼らの証し、それはイエスによって示された「互いに愛し合うこと」であった。つまり、ユダヤ教は「裁き」を実践し、キリスト教は「愛（赦し）」を実践する。そこに、ユダヤ教との「決定的な違い」が示されている。
- ・ わたしたちが、お互いに優しくし合ったり、支え合ったりすること、それが「愛するということ」なのだ、のちに聖霊を通して弟子たちに悟らせる（「聖霊が、あなたがたにすべてのことを教え、わたしが話したことをことごとく思い起こさせてくださる」26節）。

★ 説教

みなさん、愛って知っていますか？キリスト教でいう愛ってどんなものなのかな？今日の聖書の箇所はイエス様が「互いに愛し合いなさい」と命じておられる場面です。そしてその愛するという戒めをイエス様ご自身が「行ない」をもって弟子たちに示されたのです。その日の夜、外から帰ってきたイエス様と弟子たちは皆、サンダル履きでしたから、土ぼこりで足が汚れていました。本当は弟子たちがイエス様の足を洗って差し上げるべきなのに、今夜のイエス様は、いつもと違います。イエス様は順番に弟子たちの足を優しくていねいに洗ってあげました。きれいになった足は、つるつるでサラサラしていました。「ああ、足がきれいになって気持ちいい」。だんだん、弟子たちの心は優しく、温かな気持ちになっていきました。まるで、イエス様の愛が弟子たちの心に注がれたようでした。全員の足を洗い終わって、イエス様は弟子たちにこう告げられました。「わたしがどうしてみなさんの足を洗ったかわかりましたか？わたしはあなたたちにもはん（みほん）を示したのです」足を洗うことによって、イエス様は弟子たちに愛を見せてあげたのでした。そして、どれほど弟子たちを大切にしているか、それを伝えるためにイエス様はみんなに「愛すること」の見本を示したのです。弟子たち

にとって、この夜がイエス様と過ごす最後の夜でした。イエス様は、自分が遠いところへ行ってしまったあと、みんながお互いに優しくし合ったり、支え合ったりするようにと、そしてそれが「愛すること」なのだと、弟子たちに教えました。

さーて、イエス様が天に帰られたあと、今度は弟子たちがお互いに優しくし合ったり、支え合ったり、相手を大切にすることによって、イエス様がやって見せてくださった素晴らしい愛を行なっていく、そして、多くの人々にその愛を伝えていく番です。

#### ★分級への展開

さんびしよう

\*讃美歌は”こどもさんびか”（日キ版）より

51番（1, 2）

100番（改訂版）

話してみよう

やってみよう

☆「愛してるよ」笑うと負けよゲーム

①輪になって座る。

②順番を決め、隣の人に「愛してるよ」と心をこめて言う。

③言われた人は「ありがとう。私も愛してるよ」と答え、次の人に「愛してるよ」と言う。

④途中で笑った人は、「あなたがたに新しい掟を与える。互いに愛し合いなさい」と言って真ん中に座る。

⑤2周目からは、表現を変えて「愛してるよ」の気持ちをそれぞれオリジナルで伝える。

⑥最後まで笑わなかった人の勝ち！

※来週は、母の日です。教会学校参観日をしましょう。お母さんに案内を作ってもいいですね。

2010年5月9日 復活後第5主日

使徒言行録 14:8-18 黙示録 21:22-27 ヨハネ 14:23-29

#### ★暗唱聖句

わたしを愛する人は、わたしの言葉を守る。

ヨハネによる福音書 14:23-29

#### ★ねらい

・イエスを愛するとは、イエスの言葉に従うことと直結している。そしてイエスの言葉に従うこととは、聖書に示されている父なる神の言葉に従うことと同意義であることを理解させる。

#### ★説教作成のヒント

・イエスの言葉をただ観念的に理解していく生き方ではなく、言葉を実践する（言葉を守る）生き方

がイエスによって示されている。いやいやイエスの言葉を守るのではなく、イエスを愛する人であれば、イエスの言葉に従って行こうという気持ちが自然に心にわき起こってくる。そこに父なる神とイエスとわたしというつながりが実現する。「わたしの父はその人（イエスの言葉を守る人）を愛され、父とわたしはその人のところへ行き、一緒に住む」（23節）。

#### ★豆知識

- ・父なる神とイエスの結びつきは、ヨハネ福音書では最初に強調される（1：18「父のふところにいる独り子である神（イエス）」）。イエスと父なる神がピターッとくっついてる姿が描かれ、そしてその結びつきにわたしたちも与ることが許されている（上記23節）。

#### ★説教

みなさんは、教会にきて、牧師さんがされる聖書のお話を聞いて、お祈りをして、祝福を受けて家に帰ります。家に帰ってから、「今日、牧師先生は、どんなお話しをしたっけ？」と思うことはありますか？教会に行って聖書のお話しを聞いてきたけど、どんなお話だったか、あまり覚えてない、という日もあると思います。あるいは、神様のお話しをそのまま自分の心の中にしまいこんで、そのうちに忘れてしまうということもあるかもしれません。だれでも、学校を卒業して大人になったら、仕事をするようになります。もちろん、一人ひとりの仕事は違うものでしょう。各自、別々の道を歩み始め、お医者さんになる人もいるでしょうし、自動車を作る会社に入る人もいるでしょう。あるいは、学校の教師になったり、親がやっているお店を引き継いで仕事をする人もいるでしょう。どんな仕事をするようになって、神様はわたしたちに望んでいることは変わりません。それは、聖書に書いてある言葉を守ることです。教会で、聖書のお話しを学んで、でもその言葉を守らないならば、いったいわたしたちは何のために教会へ行くのでしょうか？

昔、日本は戦争をしたことがあります。そのころ、日本人は天皇陛下を「神様」だと考えられていました。もし、「天皇は神様じゃない」と言ったら、軍隊の人たちからひどく怒られました。人によっては逮捕されて、牢屋に入れられて、結局死んでしまった人も多くいました。そのような中で、聖書に示された神様の言葉を行なうことは、とても大変なことでした。でも、勇気をもって神様の言葉を守ることをイエス様は喜んでくださいます。学校や家での生活もそうですし、わたしたちが大人になってする仕事の中でもそうです。お医者さんが、自分のお金儲けのために仕事をするのと、命を大切に思い、患者さんの病気が治って喜ぶ顔が見たくて仕事をするのと、大きな違いがあります。聖書に記されている神様の言葉を大事に思うとき、人にやさしく接していこうと思うようになります。イエス様が父なる神様の言葉を大事にし、「隣人を自分のように愛しなさい」という言葉を守って、多くの人の病気を癒しました。目の見えない人を見えるようにし、足が悪くて歩けない人を歩けるようにしました。きっとイエス様は病気が治った人々の輝くような笑顔を見てうれしく思ったに違いありません。わたしたちの生活の中にも、神様の言葉を守ることを通して見ることのできる笑顔があるに違いありません。小さなことでもいいですから、イエスを愛し、その思いを外側に表していくかたちで、神様の言葉を守っていきましょう。そこに神様が共にいてくださいますから。

#### ★分級への展開

さんびしよう

\*讃美歌は”こどもさんびか”（日キ版）より

□ 4 4 番

□ 1 2 0 番 (改訂版)

話してみよう

やってみよう

☆愛のあいリズムゲーム

① 2人1組になる。(参観でお母さんが来てる場合は、親子で組む。)

ハンパな時は、3人組があっても大丈夫です。

② Aさん、Bさんを決め、向かい合わせに立つ。手を使ってリズム打ちをするゲームです。

パターン1…2拍子リズム

A あ \* (Aさんは、‘あ’の時、「あ」と言って手を出す)

B \* い (Bさんは、Aさんに続いて「い」と言ってAさんの手を打つ)

「あ・い・あ・い・あ・い・あ・い……」と続けます。

慣れてきたら、Aさんは手の位置を高くしたり横に出したり低くしたりと全身を使って動かします。

パターン2…3拍子リズム

A あ \* \* (Aさんは、常に1拍めの「あ」の言葉です。)

B \* い す

言葉は、オリジナルで考えてくださってもOKです。(あ・だ・む etc)

パターン3…4拍子リズム

A あ \* \* \*

B \* い さ つ

(あ・が・ぺ・い アガペーの意 etc)

③ Aさん、Bさんを交代する。

上手にできるようになったら、ピアノなどを使ってリズムを変えたりするのも楽しい。

※ 3人組の時は、Aさんは両手を使います。

☆人間知恵の輪ゲーム

① 1人、イエスさま(ほどく人)を決め別室で待ってもらおう。

② 残った人で、輪になって手をつなぎ、またいだり、くぐったりしながらもつれあう。注:この時、絶対手は離さない。

③ イエスさまに出てきてもらい、ほどいてもらおう。

2010年5月16日 昇天主日

使徒言行録1:1-11 エフェソ1:15-23 ルカ24:44-53

★今週の聖句

祝福しながら彼らを離れ、天に上げられた。

ルカによる福音書24:51

### ★ ねらい

イエスは祝福しながら天に上げられたが、祝福をしながら、またおいでになること（使徒1:11）を教える。

### ★ 説教作成のヒント

- ・ ルカ福音書だけでなく、同じイエスの昇天の場面がある使徒言行録も考慮してメッセージを作らなければなりません。
- ・ わたしたちが普段の生活で使う「祝福」という言葉と、聖書にある「祝福」の意味の違いを理解すること。

### ★ 豆知識

- ・ ルカ福音書と使徒言行録は同じ人物によって書かれた。ルカが前編、使徒言行録が後編にあたる。その同じ著者によって書かれた二つの文書の「つなぎ」の部分が、ルカ福音書の最後にあるイエスの昇天の記事であり、使徒言行録の最初の部分がイエスの再臨の約束である。

### ★ 説教

ルカによる福音書と使徒言行録は、同じ人物によって書かれたものです。ルカは前半部分、使徒言行録は後半部分、このふたつが合わさってひとつの物語ができています。

復活をされたイエス様が天に上げられたということ、それは、弟子たちとさよならをした、ということの意味しています。けれども、使徒言行録1:11には、白い衣を着た二人の人の言葉で「またおいでになる」と語られています。さよならをされたイエス様は、またおいでになる。イエス様がまたおいでになるためには、まず「さよなら」をしなければならなかった。再び会うために、イエス様は一度弟子たちから離れなければならなかったのです。

この今まさに天にあげられようとしているイエス様は、十字架にかかられたお方です。十字架にかかられて、激しい痛みの中、死んで行ったお方でありました。けれども、一度死なれたイエス様は、復活して弟子たちにご自身を現わされたのであります。まさに、死ぬことは永遠の別れではなく、再び会うためにどうしても必要なものなのだと、イエス様は伝えたかったのかも知れません。

こうして、白い服を着た二人の人の約束「イエス様はまたおいでになる」という約束は、イエス様が復活して弟子たちに会いに行った出来事によって、わたしたちは信じることができると思います。死者の中から復活し、弟子たちに現われて、そして天に上げられたイエスは、またおいでになる。そのことが本当に実現する、そのことをこの聖書の箇所は語っております。

イエス様がまたおいでになる。では、イエス様はどのようにおいでになるのでしょうか？ルカ福音書24:50-51では、このように書かれています。「イエスは、そこから彼らをベタニヤのあたりまで連れて行き、手を上げて祝福された。そして、祝福しながら彼らを離れ、天に上げられた」。そして、使徒言行録の方には、このように書かれています。1:10-11です。「イエスが離れ去って行かれるとき、彼らは天を見つめていた。すると白い服を着た二人の人がそばに立って言った。『ガ

リラヤの人たち、なぜ天を見上げて立っているのか。あなたがたから離れて天に上げられたイエスは、天に行かれるのをあなたがたが見たのと同じ有り様で、またおいでになる』そう書かれています。天に上げられたイエス様がまたおいでになるとき、イエス様は天に行かれたのと同じ有り様でまたおいでになる。つまり、イエス様は手を上げて、祝福しながら天に上げられたわけですから、イエス様は手を上げて祝福しながらまたおいでになるのです。

★分級への展開

さんびしよう

\*讃美歌は”こどもさんびか”（日キ版）より

1 3 2 番

9 2 番（改訂版）

話してみよう

やってみよう

☆天に昇っていくイエスさまを作ろう

<用意するもの>

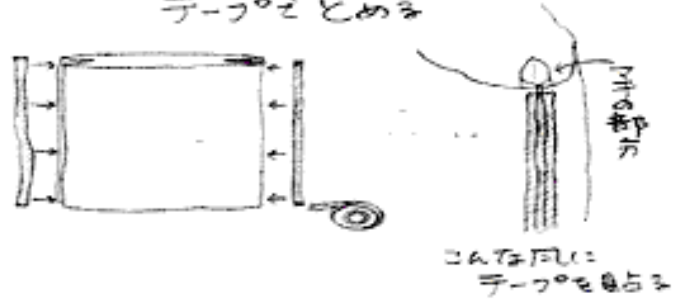
スーパーのレジ袋、タコ糸、テープ



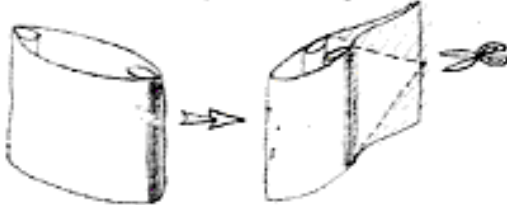
① 上下を切り取る



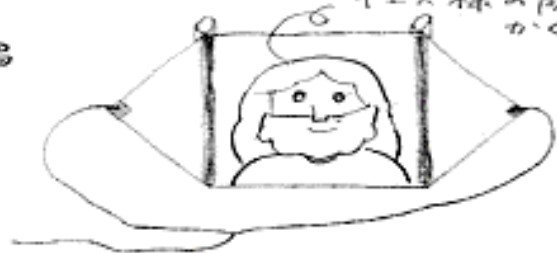
② マチの部分もテープでとめる



③ 字の書かれた紙(一面だけ)を三角形状に切り取る



④ たこ糸をテープでとめる イエス様の顔をかく



※絵本 ほねなしカイト 福音館 参照

2010年5月23日 聖霊降臨祭

創世記 11:1-9 使徒言行録 2:1-21 ヨハネ 16:4b-11

★今週の聖句

「わたしが行けば、弁護者をあなたがたのところへ送る」

ヨハネによる福音書 16:7

★ねらい

- ① イエスが父なる神のもとへ戻られることによって、イエスの代わりに弁護者なる聖霊が与えられる、これを理解させる。

★説教作成のヒント

- ・ 聖霊を子どもたちに理解させることは非常に難しい。聖霊を弁護者(自分を弁護してくれるもの、助けてくれるもの)と理解させることが、子どもたちにとって分かりやすい。

★豆知識

- ・ 聖霊は基本的に「神の力」と考えると分かりやすい。しかし、聖霊の役割について、たくさんの

記述が聖書にはある。

- ・ 弁護者が送られるということは復活のイエスが天から再臨する出来事である（ブルトマン）。
- ・ イエスの天からの再臨（弟子たちとの再会）が実現するとき、弟子たちの艱難と悲しみは喜びに変わる（十字架の死から復活へ→苦難から栄光へ）。（大貫『ヨハネによる福音書～世の光イエス』）

## ★ 説教

教会というところは、いろいろな人が集まっています。仲のよい友だちがいたり、自分にいつもあったかい言葉をかけてくれる人たちもいます。でも、仲の悪い人もいるかも知れません。ルターさんは、教会には、やさしくていい人ばかりいる、それが教会だ、というふうには、じつは言っていないんです。むしろ、「敵」と呼ばれるような、一緒にいるといやな気持ちになる、そういう人もいるんだよ。

「教会にも、嫌な人、きらいな人がいる」。でも、そういう「敵」のような人を避けて、仲のよい友だちたちと一緒にいようとするのはいけないなあ、と言っています。そういう、仲良しの人たちだけで集まっている人たちに向かって、ルターさんはこういうふうに言っています。「ああ、だめだよ、仲良しの人とだけ一緒にいるのは。イエス様も敵がいっぱいいるところにいたんだよ、だから、教会でもいやな人にも、やさしく接していかなきゃならない。というのが、ルターさんの考え方なんです。こういうルターさんの言葉というのは、わたしたちが生きている、その現実をよく知っている言葉ですよ。わたしたちはどちらかと言うと、居心地のいいところにいたい、そう望みます。そして、自分たちの周囲が、あったかくて、やさしくて、信仰深い、そういうところこそが教会だと思いたいです。でも、ルターさんは現実をよく見えています。わたしたちの周囲は、「敵」と呼んでもいいような、いやな人とか自分にいじわるする人たちもいて、自分に対して冷たい言葉を言ったり、自分に対して白い目が向けたり、反発をしたり、あるいは、ひとりぼっちになるようにと、周りの友達たちに言いふらしたりする、そういうところにわたしたちは、本当は生きている。そして、教会もまた、そういうところにある。そういう人間の現実を、教会のありのままの姿を見ていった時に、ルターさんは、そういうふうには言わなければならなかったんです。だって、イエス様もそういうところにいたじゃないか。みんなに悪口を言われたり、いじわるをされたり……。でも、イエス様も、そういうところで生きていたんだよ。そのことをよく見ようよ、というのがルターさんの言いたかったことなんです。

そういう中でイエス様は十字架にかけられ、死んでくださった。でも、イエス様は復活をして、こんどは教会が、イエス様が行っていたことを引き継いで、出発をしたんです。そのときの原動力となったのが、聖霊なんです。聖霊って、すごくわかりにくいものだけど、その聖霊は「弁護者」と呼ばれて、文字どおり教会は弁護してもらって、助けてもらって、ずーっと生き抜いてきたんです。敵がいるところで、教会は聖霊に助けられた。イエス様も、敵がたくさんいたところにおいて、苦しみを耐え忍びながら、救いの活動を行なった。そのイエス様が、わたしたちを弁護してくださる聖霊を送ってください。敵が自分に対して冷たい言葉を投げかけ、自分に対して白い目を向け、自分をひとりぼっちにさせ、冷たい仕打ちをする。そのような敵がいるところに、聖霊は助けてくれるんです。

## ★分級への展開

さんびしよう

\*讃美歌は”こどもさんびか”（日キ版）より



□ 4 2 番

□ 9 6 番 (改訂版)

話してみよう

やってみよう

☆聖霊のハトをつくろう

<用意するもの>

八つ切り画用紙 (白 1 枚、色 1 枚)、トレー (八つ切り画用紙が入る大きさ、空き箱などを利用して  
も良い)、ビー玉数個、絵の具、パレット、黄色の画用紙又は黄色の折り紙 (くちばし部分)

- ① 白の画用紙をハトの形に切る。
- ② トレーに①のハトを入れ、水でといた絵の具をビー玉につけ、トレーの中を転がす。
- ③ 好きな色を何色か同じようにすると、幾何学模様ができる。
- ④ 絵の具が乾いたら、ハトの目を描き、くちばしを (黄色の画用紙でくちばしの形に切ったもの)  
くっつける。
- ⑤ 色画用紙に貼り付けて、今週の聖句「わたしが行けば、弁護者をあなたがたのところに送る」を  
書きこんだら出来上がり！



2010年5月30日 三位一体主日

イザヤ 6:1-8 ローマ 8:1-13 ヨハネ 16:12-15

★今週の聖句

真理の霊が来ると、あなたがたを導いて真理をことごとく悟らせる。

ヨハネによる福音書 16:13

★ねらい

父と子と聖霊はひとつの神様、それは三つが愛で結ばれているので、ひとつの神様なのだというこ

とを教える。

### ★ 説教作成のヒント

- ・ 特にありません。

### ★ 豆知識

- ・ 特にありません。

### ★ 説教

父と子と聖霊はひとつの神様、わたしたちはそう告白いたします。15節の前半にはこうあります。

「父が持つておられるものはすべて、わたしのものである」。ということは、父なる神様が持つておられるものはすべて、イエス様のものである、ということを聖書は言っています。そのイエス様のものを聖霊（わたしたちの弁護をしてくださる、助けてくださる）が受けて、わたしたちに告げる～15節の後半の言葉です。「その方がわたしのものを受けて、あなたがたに告げる」。

父が持つておられるものとは、いったいなんでしょう？ヨハネの手紙第一は、神は愛である、そう伝えています。神様は愛であり、神様はその愛に満ち溢れているんです。聖書に従ってみていくと、その満ちあふれる愛はすべてイエス様のものだということが分かります。そして、その満ちあふれる愛を聖霊はイエス様から受けて、わたしたちに与えてくださいます。イエス様が洗礼を受けられたとき、聖霊が鳩のように目に見える姿でイエス様の上にくだってきた。そして、「あなたはわたしの愛する子、わたしの心に適う者」という神様の声が天から聞こえてきた、そう聖書には記されています。このイエス様に注がれた愛を、神様の満ちあふれんばかりの愛を、イエス様が受けて、それを今度は聖霊がイエス様から受けて、わたしたちにその愛が注がれる。15節のイエスの言葉「その方がわたしのものを受けて、あなたがたに告げる」という言葉は、「あなたはわたしの愛する子、わたしの心に適う者」という神様の声が、わたしたちにもかけられるということを表わしています。聖霊は、この「あなたはわたしの愛する子、わたしの心に適う者」という神様の声を、聖書のみことばを通してわたしたちが聞けるように導いてくださいます。その神様の声は、仲のよい人たちの中には決して響いて来ません。自分にいつもあったかい言葉をかけてくれて、自分にやさしくしてくれて、大切な存在として自分を見てくれる人たちの中には、決して聞こえて来ないのです。神様の愛は苦しい思いをしているときにこそ、わたしたちの心に染みわたっていく。わたしたちに与えられた聖霊によって、神様の愛はわたしたちの心に注がれている。この神様の愛を、体全体で受け止めて、神様の愛で満ち溢れたい。イエス様が神様の愛でいっぱい満たされていたように、わたしたちも、神の愛に満たされたい。そして、イエス様のように、人を愛する者になりたい。父と子と聖霊はひとつの神様、それは三つが愛で結ばれているので、ひとつの神様なのです。

### ★分級への展開

さんびしよう

\*讃美歌は”こどもさんびか”（日キ版）より

7 番

9 5 番（改訂版）

話してみよう

やってみよう

- ① お父さんが、怒った時、優しい時、働いている時、動物にたとえると何になるかを考えて、1枚の紙に絵を描いてみる。
- ② 動物にたとえると色々あるけど、どれも同じお父さんだよね。怒ったお父さん、優しいお父さん、みんなの生活のために働いているお父さん、みんなが大好きだからいろんな顔があるんだと思います。
- ③ 今日は、三位一体主日ですね。神さまは、父であり、み子イエスさまであり、聖霊です。そしてみんなのことが、大好きで、いつも一緒にいてくださいます。